

こんにちは！YPSです。

7月18日(木)に開催します。曜日が**木曜日**ですのでご注意ください。

テーマは「対談：文化人類学から考える 村津蘭さん✳️横山紗亜耶さん」。

さざなみ会と懇意にさせていただいてる、文化人類学者の



村津蘭さん

と、横山紗亜耶さん



おふたりによる対談です！村津蘭さんと、横山紗亜耶さんのお二人が『文化人類学』という学問やその魅力、なぜ『文化人類学』をすることになったのかなどを、これまでの経験を交えながら対談します。



文化人類学とは

世界各地のそれぞれの文化が持つ特徴を現地で調査し、研究する学問。

世界各地のさまざまな社会や地域で日常的に行われている文化的な活動を、実際にその社会や地域に入っていく、一緒に生活してみたり、インタビューすることなどを通じて細かく調査し、研究する学問。調査の対象は、伝統的な風習を守る部族社会から、現代的な地域社会まで、非常に多岐にわたる。また、国内の文化も調査の対象として重要である。学問的な特徴としては、文献による研究だけではなくフィールドワーク（現地調査）に重きを置く傾向がある。

■会場詳細

場所：ウイリング横浜 12階 121研修室

時間は：18：30～20：30

参加費：500円（これ以上でも以下でも可です。）

※基本、参加希望の方は、YPSまでご連絡下さい。（当日参加も○です。）

上大岡1丁目6-1 ゆめおおおかオフィスタワー

お問い合わせ/お申し込み：横浜ピアスタッフ協会 YPS

TEL045-370-9455/Email：yokohama.peer@gmail.com

参加者希望

■ご講演・ゲストご紹介

横山紗亜耶さん：

所属：東京大学大学院総合文化研究科 超域文化科学専攻

学位：学士（社会福祉学）（2021年3月上智大学）

修士（社会学（専門：人類学））（2023年3月慶應義塾大学）

2023年4月より日本学術振興会特別研究員（DC1）。社会福祉士、精神保健福祉士。専門は精神保健福祉の人類学。ピアサポートをはじめ、精神障害当事者による活動がいかんして健常者中心主義的な社会に応答しているのか、特にその戦略的側面を研究している。論文に「支援に「共感」って必要ですか？：絶望によるピアサポートをさざなみ会に見た」『精神看護』25（3）など。

村津蘭さん：

1983年生まれ。東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所・助教。京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究科博士課程修了。博士（地域研究）

専門は文化人類学、アフリカ地域研究。西アフリカ・ベナンの宗教現象をフィールドとした宗教人類学、映像人類学/マルチモーダル人類学に根差した研究を行っている。

23年第6回神奈川ピアまつりを撮影して頂き、24年度ピアまつりも撮影のご予定。現在、「さざなみ会」の「ドキュメンタリー映像」のプロジェクトも進行中。

